全国病児保育協議会のホームページ　http://www.byoujihoiku.ne.jp

全国病児保育協議会広報委員会

病児保育協議会ニュース

＝今号の目次＝

１頁　協議会メール　第１６回全国病児保育研究大会期日迫る
２頁　加盟施設紹介
「ピッピの森」、後藤こどもクリニック病後児保育室「たぬき先生」、おおた小児科・循環器科病後児保育室「ミルキー」、病児保育室さくらんぼ
３頁　加盟施設紹介
井口小児科内科医院病児保育室「ぽっけ」
広報委員会からのお願い
広報委員会からのお知らせ
４頁　ブロック便り　北東北ブロックから
ブロック便り　近畿北ブロックから
５頁　ブロック便り　近畿南ブロックから
新規加入施設紹介
６頁　診察室から７・リレー保育日誌７
７頁　第１６回全国病児保育研究大会会場紹介
８頁　新規加入施設紹介

大阪での病児保育研究大会、期日迫る！

～事前登録をして大会に参加してください～

第 16 回全国病児保育研究大会実行委員長　木野　稔

第 16 回全国病児保育研究大会は平成 18 年 7 月 16 日、17 日と大阪市の中之島公会堂で開催されますが、いよいよあと２か月に迫りました。

一般演題は 40 題集まり、それぞれ分科会として口演あるいはポスターともに十分な時間で発表と討論をしていただけるように編成いたしております。講演や研修プログラムも予定通り行いますが、なんでも相談コーナーでは、管理者用とスタッフ用を設け、役員と実行委員が総出で担当するつもりです。

総会後の懇親会では、食道楽の料理と上方落語をお楽しみいただきながら、今年発足いたします各県支部の方々との親睦も図られるように計画しておりますのでお楽しみください。

プログラム、一般演題の分科会構成については大会ホームページに掲載しておりますのでどうぞご覧ください。大会ホームページ：https://apollon.nta.co.jp/byoujihoiku16/

事前登録の締め切り日が迫っています。参加料がお安くなるだけでなく、前もって抄録集をお送りいたします。今回の抄録集には厚労省研究班「保育所型病児保育」ガイドライン（案）も掲載されています。大会参加前に抄録をお読みいただき、講演、分科会やポスターでの質疑の際のお役にたてていただければと考えています。

是非、事前登録をよろしくお願いいたします

究極の育児支援病児保育の安全と安心を求めて

本格的な人口減少時代を迎え、厚労省「子ども・子育て応援プラン」における様々な少子化社会対策は、その実効性がためされます。病児保育が子どもの安全を守り、親子に安心を与える事業として飛躍することを願って企画します。

日時●平成18年7月16日（日）～17日（月祝）

会場●大阪市中央公会堂

会頭／中野博光　　実行委員長／木野　稔

プログラム

講演●「病児保育のリスクマネジメント」（帆足英一／全国病児保育協議会顧問）
講演●「究極の育児支援病児保育の課題」（藤本　保／全国病児保育協議会会長）
講演●「大学病院小児科におけるアメニティ」（金子一成／関西医科大学教授）
講演●「子どものトラウマ」（西澤　哲／大阪大学人間科学部助教授）
「医療の安全・安心」（辻本好子／NPO法人ささえあい医療人権センター理事長）
ステップアップ研修●「あまえ療法」（澤田　敬／高知県中央児童相談所医務主任）
基礎研修プログラム、施設長研修、一般演題など

主催：全国病児保育協議会　　事務局：特別医療法人真美会 中野こども病院
http://www.byoujihoiku.ne.jp　　TEL.06−6952−4778　FAX.06−6954−8621
後援：厚生労働省　大阪府　大阪市　大阪府医師会　大阪府女医会　大阪小児科医会　大阪府看護協会

加盟施設紹介

「ピッピの森」

「ピッピの森」は、平成16年広島市西区に小児科併設型として開設しました。翌年より市の委託を受けています。

初めてまだ日の浅い保育室ですが、病気の子どもたちが、暖かく家庭的な雰囲気の中で、ゆったりと過ごせるよう日々頑張っています。年齢や病状によって、保育士が本の読み聞かせをしたり、工作・カード遊びなど工夫して過ごしています。

中央の職員室から子どもたちの様子を常に観察できるように、4つの保育室はガラス越しで見渡せるようにしました。

これからも保護者の皆様が安心して預けられる病児保育室を目指し、保育士・看護師共に努めていきたいと思います。

責任者　森近　淳子
所在地 :950-0983
広島県広島市西区己斐本町一丁目２５－３
１丁目５番４７号
TEL:082-272-3110

後藤こどもクリニック　病後児保育室「たぬき先生」

平成16年12月板橋区より委託を受け、小児科クリニック併設で開室いたしました。定員は４名です。看護師２名、保育士４名が交代制で常時２名で看護、保育にあたっています。

開室当時は認知度が低く利用者も少なかったのですが、ようやく一年たち月平均40人前後の利用があるようになりました。モットーとして安静にゆったり、ゆっくり過ごす雰囲気作りを心がけています。

利用した保護者の方からの「たくさん遊べたよ。たぬき先生にまた行きたいって言っていました。」という声が何よりの励みになっています。

短期の利用が多く、継続的に保育に関わっていくことができない難しさはありますが、個別保育の良さが伝えられればと思います。

保育士　皆川　優子
所在地 :173-0037
東京都板橋区小茂根
1-27-19
TEL:03-5917-8550

おおた小児科・循環器科　病後児保育室「ミルキー」

「ミルキー」は、千葉市で５番目の医療機関併設型病児保育室として、おおた小児科に隣接して開設しました。交流が活発な千葉市の病児保育施設の皆さまに助けていただきながら、３年が経とうとしています。

施設が手狭なため、疾患の組み合わせや隔離にはいつも苦労していますが、小児科併設の特徴を生かし、医師、看護師、保育士による“子どものための施設”でありたいと考えています。

お預かりすることで親子ともに心と体が元気になってもらえたらと願っていますが、子どもたちが泣いたり笑ったり食べたり悪戯したりしている様子を身近に見ることで、本当は私達が一番元気をもらっているのかもしれないと思うこのごろです。

看護師　太田　まり子
所在地 :559-0033
千葉市美浜区磯辺
2-1-99
TEL:043-303-1715

病児保育室さくらんぼ

広島県竹原市は、瀬戸内海沿岸部の小さな田舎のまちです　平成15年10月に、竹原市の委託を受け、山下産婦人科内科医院の４Ｆに開設しました。

さくらんぼの定員は４名で、保育室のほかに安静室、隔離室、の３部屋を用意し、さまざまな病気に対応しています。

平成16年度には600名の利用がありました。年４回さくらんぼだよりを発行し、理解を広める努力を行っています。

また、病後児保育スタッフは現在７名です。今年度は補助金がＡ型へ移行され、益々充実した保育ができると希望を高く持っております。

地域や保護者のニーズに応え、子どもたちのしあわせのお手伝いができたら、と常に考えながら、今日も笑顔で受け入れしたいと思います。

保育士　石黒　祥代
所在地 :725-0026
広島県竹原市中央
3-15-1
TEL:0846-22-2325

加盟施設紹介

井口小児科内科医院 病児保育室「ぽっけ」

病児保育室「ぽっけ」は、医療機関併設型の病児保育室で、平成15年2月に神戸市委託の保育事業として開設されました。開設当初は、定員4名でしたが、平成17年4月からは、定員6名に増員しました。

保育室には、大きな窓があります。そしてそこから差し込む暖かい光に包まれて子ども達は、1日を過ごしています。そのせいか、子ども達は、病気であっても元気です。

そして私達は、そんな子ども達が、1日楽しく安全に「ぽっけ」で過ごすことができるよう、保育と看護を提供しようと頑張っています。

子ども達はもちろん、保護者の方々にも「また、利用したい」と思ってもらえるよう、スタッフ一同日々努力していきたいと考えています。

保育士　三宅
所在地:655-0004
兵庫県神戸市垂水区学が丘4丁目15-5
Kコート302
TEL078-782-7665

広報委員会からのお願い

協議会加盟施設・準会員のみなさん、病児保育ニュースのご愛読ありがとうございます。

当協議会も加盟施設が400施設近くなり、全ての加盟施設が一同に会する事が不可能に近い状態となっているのが現状です。そのような中、病児保育ニュースが、協議会や全国の加盟施設の様子を知る重要な役割を担っていると考えています。ぜひ、広報委員会からの原稿依頼に積極的に御協力下さい。

また、原稿・御意見等もどしどしおよせ下さい。送り先は以下の広報委員までお願いします。

●〒036-8092 青森県弘前市城東北4-4-20
城東こどもクリニック　ことりの森　担当：竹内
TEL0172-29-3112　FAX0172-29-3118
●〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3-24-3
バンビーノ　担当：佐藤
TEL043-293-2503　FAX043-293-2503
●〒458-0006 名古屋市緑区細口3丁目531
なずな病児保育室　担当：前田
TEL052-877-7588　FAX052-877-7595
●〒536-0001 大阪市城東区古市1-19-23 大阪福祉事業財団すみれ乳児院
すみれこどもケアルーム　担当：小田
TEL06-6934-8868　FAX06-6934-8868
●〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須3丁目8-56
ますだ小児科内病児保育室バンビ　担当：増田
TEL082-508-2323　FAX082-508-2324
●〒806-0056 熊本県熊本市新土河原2丁目8-34
NPO法人チャイルドケアサポートみるく　担当：永野
TEL096-351-8825　FAX096-351-8830

広報委員会からお知らせ

第16回全国病児保育研究大会で、広報委員会として「広報の部屋」を出展することになりました。

「病児（後）保育」は、まだまだ世間の人には知られていません。広報活動は「病児（後）保育」を広く世間の人に知ってもらうために重要な取り組です。幅広い人に正しい「病児(後)保育」を知ってもらうために、マスコミを通じて紹介してもらうのも必要です。そのような中で今回広報委員会として「広報の部屋」を設けました。

「広報の部屋」とは、日頃目にしない地域の病児保育関連の新聞報道やテレビ報道等を全国の加盟施設が集う研究大会の場で、参加された加盟施設のみなさんに見ていただきたくて企画しました。

病児保育協議会では現在、新聞報道やテレビ報道等の資料を保管していません。この機会に加盟施設のみなさんの関心ある記事やニュースを集めさせていただいて、協議会の財産にしたいと思っております。

会員施設のみなさんのお手元にある市町村の広報紙、新聞報道やテレビ報道等を是非、広報委員会にお寄せ下さい。大会当日は、新聞報道はファイリングにし、テレビ報道はＤＶＤに収録し直して見ていただけるようにしたいと思っております。

●市町村の広報紙、新聞報道はコピーを送付して下さい。
●テレビ報道はビデオテープ・ＤＶＤを送付して下さい。ダビングしてお返しします。
資料の送付先
〒535-0022　大阪市旭区新森4-13-17
特別医療法人真美会　中野こども病院　全国病児保育研究大会事務局「広報の部屋」係

●広報委員会からのお詫び●

この間ニュースの発行が遅れておりご迷惑をおかけしております。

ニュース発行にあたり加盟施設の皆様から寄せていただいた貴重な原稿を当方の不手際により紛失する事態が発生いたしました。該当する加盟施設の関係各位の皆様に深くお詫びするとともに、再発をしないよう努力いたします。

原稿を送付していただきました加盟施設のなかで、記事が掲載されていない施設がありましたら記事を掲載させていただきますので、同上に掲載しています広報委員までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

今後は、定期発行を目指して奮闘いたしますので引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

東西南北ブロック便り

北東北ブロックから

第三回北東北病児保育室交流会

城東こどもクリニックことりの森　竹内　郁子

平成１７年１０月２２日・２３日秋田県秋田市『秋田温泉さとみ』で第三回北東北病児保育室交流会が開催されました。

今年は２２日に食事をしながら楽しい懇親会、２３日の１０時～１５時まで交流会が行われました。２３日午前中を市民および関係者対象の公開講座、講演とし、午後はワークショップ（ＷＳ）が行われました。

午前の公開講座は①『秋田県の病（後）児保育の現状と課題』秋田県教育庁幼保推進課　金子治生②『由利本荘市における病（後）児保育の現状と課題』　由利本荘市福祉保健部子育て支援課　長谷川聡　③『病（後）児保育の概要』

城東こどもクリニック　医師　松原　徹　④病（後）児保育の実践　（社）みろく会明星保育園　園長　澤口　由加里　⑤病（後）児保育室における保育看護について　城東こどもクリニック　看護師　赤平　幸子　の５つの講座が行われました。講演は『小児の発達と保育室におけるスタッフの対応』　クローバー病後児保育室　臨床心理士　石山　宏央　でした。午後は交流会メンバーで３つのＷＳに分かれ、活発なディスカッションが行われました。

①さけみ小児科クリニック　院長　酒見　喜久雄先生に『保育士、幼稚園教諭のための子どもの感染症』と題して感染症の主な症状と子ども特有の感染症、潜伏期間、登園基準､感染症の稀にみる症状、小児の事故について解説していただきました。小児の感染症について知識がある、ないに問わず、大変勉強になりました。

②城東こどもクリニック病児保育室ことりの森　保育士　佐藤　誠子先生による『手作りおもちゃ』は参加者が自己紹介と日々の実践の中で遊んでいる手作りおもちゃの紹介、新聞紙を丸めてビニールテープをまいて手作りボールを作りながら、日頃の遊びについての情報交換を交えて作りました。また、ことりの森で人気があるおもちゃを実際に遊んで楽しんでもらいました。

③城東こどもクリニック　看護師　赤平　幸子先生の司会で『病児保育の課題と今後の方向性』のWSでは、各自治体の事業への理解、介入の仕方に差があること、保育所の登園停止扱いである学校保健法第二種感染症の受け入れについて感染期間や感染予防対策だけでなく合併症の知識を持って受け入れるべことが必要と話し合われました。

今年は２１施設４９名の参加者の他に近隣の保育園から１２名の参加者がありました。去年よりさらにたくさんの施設の先生方と交流できました。本当に中身の濃い２日間でした。

交流会開催にあたり、 クローバー病後児保育室　石山宏央先生はじめ職員の皆様方には大変お世話になりました。北東北の施設の皆様、来年の開催地は岩手ですので共に盛り上げていきましょうね！！

近畿北ブロックから

第 21 回近畿北ブロック病児保育学習交流会

宇治病院乳幼児健康支援デイサービスセンター　松本良文

1985 年から枚方、寝屋川の病児保育室が中心となり近隣の病児保育施設と共に『近畿ブロック病児保育学習交流会』を開催したのが始まりで、近年の病児保育施設や参加人数の増加に伴いブロックを南北の二つに分けて会の名称を『近畿北ブロック病児保育学習交流会』と変更しました。この会は日頃悩んでいる事や疑問に思う事や工夫している事などを自由に討論し合う会で参加者も医師、看護師、保育士、行政と幅広いです。

また、毎回講師の先生をお迎えし、疾患や感染予防などの講演を行って頂き学習しています。今回は参加施設１５カ所　参加人数４９名で京都の宇治市で行われました。午前の講演は山城北保健所主任医師の上田育代先生に『こどものよく見る病気と予防接種』というタイトルでお話しして頂きました。写真スライドを利用した講演で色々な病気を目で見ることが

出来き、大変勉強になりました。また、４月から改正になる予防接種についても詳しくお話し頂き、保護者の方の質問に自信を持って答えることが出来るのではと思います。

また午後からは保育士､看護師､運営の各部門に分かれ活発な討論が行われました。保育士の分科会では、各施設の自己紹介から、感

東西南北ブロック便り

染症児への対応について、また、保育への行事の取り入れ方など、問題点や悩みを話し合いました。誕生日カードや卒園カードを送っておられる施設もあり、今後の参考になりました。

看護師の分科会では、病児保育の利用について、保護者のニーズにも応えたいが、病気の子どもを長時間預かる不安と子どもへの負担をどう解決させていくかなど、積極的に意見交換が行われました。母親の意識の問題でもありますが、そういう母親を責めるのではなく、うまく分かってもらえるような方法を検討していかなければならないと思います。

運営の分科会では、平成１８年度より施行されるソフト交付金の話題と赤字解消にむけた取り組みについて話し合われましたが良い解決策はなかなか出ませんでした。ねばり強く行政と交渉していく必要を感じられました。

今後もよりよい看護、保育につながるよう勉強していきたいと思います。

近畿南ブロックから

第６回近畿ブロック南学習交流会

海の子学園げんきっこホーム　長谷かおる

近畿の南ブロックの学習交流会が始まって６回目をむかえた今回は、平成 17 年 11 月 26 日（日）八尾徳洲会総合病院にて 11 施設 25 名が参加してにぎやかに行われました。

まず、『コーチング・魔法のコミュニケーション』をテーマに、同病院の放射線技師の有吉真志先生からお話を聞きました。

「そもそも会話とは、話す人、聴く人の両者がいて、存在するものであり、キャッチボールと一緒です。身構えずに話ができる環境を作っていくのが、コミュニケーションの第一歩です」といわれ、「聴く・質問する・要望する・承認する」の順にわかりやすい事例をまじえながら『コーチング』について教えて頂きました。

参加者から「初めて、コーチングということばをきいた。すごく新鮮だった」「保育室のなかで、子どもたちやスタッフに実践していきたい」と、明日からの仕事に活力を得た声があがりました。

また、同病院の薬剤師神原先生の協力をいただき、薬局の見学や調剤についてのお話も聞くことができました。「手に渡されるまで、何重にもチェックされていることを知った」「薬についての理解が深まった」と貴重な経験をさせていただきました。

そしてグループ討議では、『より豊かな病児保育を目指して』と題して、３グループに分かれ、発熱や嘔吐・下痢、感染症の際の対応を食事・排泄・清潔・遊び・感染予防・与薬のそれぞれについて各施設の状況や取り組みを話し合いました。

たとえば水分補給時の工夫について、ペットボトルに印をつけ必要な水分の量を子どもにとってもわかりやすくすることや、おむつ交換のとき下に敷くものとして、消毒しやすいように風呂マットを使うなど、すぐにでも実践していけそうな内容となりました。話し合いの中に、それぞれの施設の中で、今まで気づかなかった課題がみつかったり、今後の学習会に取り上げていきたいことも多くありました。

病児保育は、ほとんどの施設が限られた人数で行われていると思いますが、子どもたちが病気のときに過ごすその１日をより主体的に豊かに健康回復に向かって支援していけるよう、情報交換を行い多面的な視点をもつことが大切であると実感した会となりました。

新規加入の全国病児保育協議会施設

360 ◆病児保育室にこにこ
保育課長　大草　久美子
〒 457-0806
愛知県名古屋市南区鳴浜町 5-10
TEL:052-612-5318　FAX:052-613-2901

361 ◆横井小児科内科医院　こりすの森
院　長　横井　透
〒 920-0967
石川県金沢市菊川 1-10-3
TEL:076-262-8551　FAX:076-260-50717

362 ◆ NPO 法人日本チャイルドマインダー協会
代表理事　西内　久美子
〒 151-0053
東京都渋谷区代々木 1-15-7-300
TEL:03-5308-3661　FAX:03-5371-3196

363 ◆社会福祉法人湘北福祉会あゆのこ保育園「ゆず」
園　長　山口　操
〒 243-0032
神奈川県厚木市恩名 96 番地
TEL:045-296-5177　FAX:046-225-8177

診察室から 7

ー小児科クリニックでの医療保育（③待合保育）ー

病児保育室「バンビ」

医師　増田　宏

ますだ小児科では、平成15年から待合室に保育士が常駐しています。来院されるお子さんのサポートと保護者のサポートおよび診察がスムースに行くように協力と配慮を行っています。

主な活動内容は、待ち時間に折り紙や絵本など遊びを提供し、診察、点滴などの際、付き添いの兄弟の世話をしたり、保護者からの質問を受けたりすることです。また本棚の整理やティッシュの補充、室温の調節などの環境整備も行います。小さなお子さんが間違って口に入れないように、床に小さなおもちゃやごみなどが落ちていないか注意します。お子さんの症状を見て、膿盆、タオルなどを用意します。玄関口で、子どもの靴の脱ぎ履きを手伝ったり、保護者が問診を書く間に子どもを預かったり、検温を手伝うこともあります。子どもの病気のために保護者が疲れているときには、積極的に話しかけ、不安を取り除く手助けを行うこともあります。また、七夕、クリスマスなど季節の飾りつけを行うことで、やさしい雰囲気づくりを行っています。

日々の活動を通して、よかったと思うことは、待ち時間にお子さんの遊び相手になったりすると、診察を終えて帰られるときに、お母さんが「ありがとうございました。助かりました。」と言って喜んでくださること。診察前に、「いってらっしゃい。がんばってね」と声をかけることで少しでも子どもの不安を除けること。お母さん方からの質問、疑問、不安に思っていることなどを聞いて、看護師や医師への橋渡し的な役割ができることなどです。逆に、困ったことは、病気の子どもが集まっている中を乳児がはいはいしたり、3階への扉を開けて上にあがろうとしたり、衛生面、安全面の確保のため、どこまで目が行き届くかが心配であること、中には、あまり関わってほしくないと思っている保護者もいるため、どこまで積極的にサポートするかが難しいことなどです。

当初、「待合で何をすれば良いか」ということに戸惑うこともありましたが、患者さんに保育士の存在が認められるようになってからは、子ども達が集まって来たり、保護者から声をかけられることも多くなり、医院の中での役割がはっきりとするようになりました。保護者と会話をする中で、保護者の悩みを聞き、医師や心理相談のカウンセラーへの橋渡しを行うこともあります。いつも忙しそうにしている医師や看護師でなく、保育士だから聞きやすい、話しやすいということは大切と思います。

保育士は子どもの相手が上手です。小児科医院に保育士がいるメリットはとても大きいと思います。医院併設型の病児保育室に勤務されている保育士の方は、是非、医院の待合に出られると良いと思います。

次回（最終回）は、不登校などの心の病気を持つ子どものプレイセラピーを紹介します。

りし～保育日誌 7

病児保育室こひつじ

保育士　清水　麻利子

紙コップフラワー

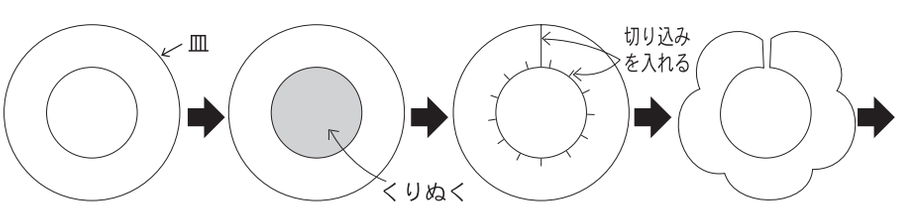
○材料：紙コップ、紙皿、クレパス or マジック or シール、広告紙など

①紙皿の真ん中をくりぬき、花びらにみたてて切る。

②一箇所の切込みを入れておく。また、紙コップにつけやすいよう、くりぬいた真ん中から1cmほどは細かめに切込みを入れておく。

③花びらに、幼児は色をぬったり模様を描いたり綺麗なオリジナル花びらを作る。乳児はシールをペタペタ貼る。

④花びら部分に切込みを一箇所いれているので、少し重ね合わせるとおわんのように丸みをおびて、本物の花びらのように見える。



⑤くりぬいた真ん中部分に細かく切り目を入れた部分を折り曲げて、紙コップにセロハンテープでとめる。
⑥紙コップの部分を手で持つと、「紙コップフラワー」のできあがり。

★遊び方

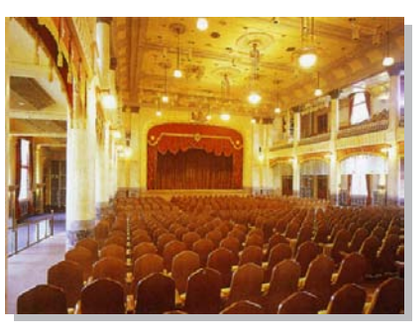
◇紙コップを手に持って、そこで丸めた紙のボールをキャッチボールするようにして遊ぶと幼児は保育士とのやり取りを楽しみ“遊びの名人”は次々に受け止めるワザ？を生み出してくれます。
　ボールは手で投げたり、また、フラワーに入ったボールをそのまま飛ばしたりもします。
　時には、紙ボール（蜂の絵を貼っておく）をやさしく飛ばしてそれを紙コップフラワーが受け止められると、「蜜をみ～つけた」と点数が増える遊びにも発展します。

◇小さな子どもには「紙コップフラワー」をたくさん並べて、花壇に見立て上からヒラヒラ飛ぶ紙のチョウチョを飛ばし、「どのお花にとまるかな」と落ちる先を楽しんで遊びます。

◇水分補給として、紙コップの中に飲み物を入れたコップを置いておき、それをおぼんにのせて「おいしい、蜜がたっぷりのお花ですよ」と見せると、水分補給も楽しい時間になります。

●紙コップフラワーは、子ども達からのアイデアがたくさんでて、キャッチボール（紙ボール・風船・スーパーボール）、ペン立て、気に入ったブロックや玩具入れ、おしゃべりがつきない、こひつじの春の遊びです。

第16回　全国病児保育研究大会の会場（大阪市中央公会堂）ご案内

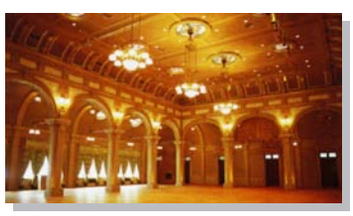


▲大集会室1F（ホール）
荘厳な雰囲気の中で講演会やコンサートなどさまざまなイベントに活用されています。

7月16日（日）・17日（月・祝）に開催される
「全国病児保育研究大会」の会場となる
大阪市中央公会堂は、

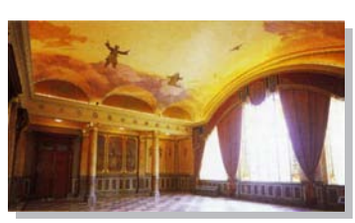
現代に甦った大正浪漫の世界

大正期ネオルネッサンスの雄大な建築様式を
そのまま現代に伝えた建物です。



▲中集会室
ヨーロピアンスタイルの優美な趣。

▲小集会室
心なごむノスタルジックな空間。



▲特別室
創建当時の貴賓室。日本神話を描いた天井画や壁画に囲まれた空間は、壮麗にして格別の趣。

7月16日（日）・17日（月・祝）の2日間は全館貸切りとなります
※レストランは除く

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をＦＡＸやメールでお送りください。直接回答させていただいたり、ニュース等に掲載させていただきます。
送付先：ＦＡＸ０６-６４４２-５７８８、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

好評販売中です

「病児保育１０年のあゆみ」

病児保育協議会が発足してから１２年目を迎えました。発行計画から２年おくれましたが、みなさん待望の１０周年記念誌「病児保育１０年のあゆみ」がやっと完成しました。発足から１０年間の協議会の歩みを網羅した貴重な資料を豊富に掲載しています。ぜひ、御購入ください。

●B5 版　１０４頁
●内容
第１部祝辞、第２部座談会、第３部１０周年今後の課題、第４部病児保育の現場から、第５部保護者・利用者の立場から、第６部資料
●価格は　１冊１６００円（送料・税込み）
●申込は、全国病児保育協議会事務局まで

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させてください。原稿をお待ちしています。

＜協議会ニュース　編集事務局＞

〒531-0076　大阪市北区大淀中３丁目１５-５
（株）関西共同印刷所内　藤本　文孝　宛
TEL.06-6453-3675　FAX.06-6442-5788
E-mail　fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

新規加入の全国病児保育協議会施設

364 ◆特定非営利活動法人いわて子育てネット
事務局長　両川　いずみ
〒 020-0884
岩手県盛岡市神明町 6-6-311
TEL:019-652-2910　FAX:019-652-2910

365 ◆医療法人まつなが小児科医院　ぴよぴよ
理事長　松永　伸二
〒 811-3305
福岡県福津市宮司 1937 番地の 1
TEL:0940-52-0420　FAX0940-52-4374

366 ◆医療法人社団だいだい東小岩わんぱくクリニック 病児保育室わんぱく
院　長　小島　博之
〒 133-0052
東京都江戸川区東小岩 4-5-2　神奈川ビル 1F
TEL:03-5612-3754　FAX:03-5612-3753

367 ◆社会福祉法人秋篠茜会　あかね保育園
園　長　浅野　嘉代子
〒 631-0813
奈良県奈良市秋篠新町 270 番地
TEL:0742-52-4321　FAX:0742-41-5048

368 ◆金津産婦人科クリニック　病児病後児保育室
理事長　堂庭　信男
〒 919-0621
福井県あわら市市姫 1-8-10
TEL:0776-73-3800　FAX:0776-73-4607

369 ◆シブヤチャイルドクリニック　くりっこ病児保育室
院　長　三澤　順子
〒 222-0031
神奈川県横浜市港北区太尾町 696-1 ナビウス大倉山 101
TEL:045-542-6941　FAX:045-542-6941

これ以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局
〒 870-0943　住所：大分県大分市大字片島 83-7　　大分こども病院気付
担当：伊東　美紀　　電話：097-567-0050（代表）　　ＦＡＸ：097-568-2970